

# 就労移行支援事業

今回は、就労移行支援の訓練生3人（Mさん、Hさん、Kさん）の様子を報告いたします。3人は今年の春に支援学校を卒業し、半年がたちました。現在特別支援学校から後輩が実習に来ている中で、去年と今年の気持ちの違いについて尋ねてみました。

① 学校を卒業して半年、どんなことを頑張ってきましたか？  
また、楽しかったこと、嬉しかったこと、大変なことはありましたか？



M: 頑張ってきたことはコミュニケーションです。報告などが卒業する前より出来るようになりました。  
H: 施設外支援に一人で行ったとき、自分で考えて動いたり、分からないときにすぐに聞けるようになった。大変なことは、コミュニケーションが取れないときや自分でどうしていいか分からないときがあること。  
K: 施設外支援で決められた時間までに決められた数をこなす事です。



② 実習生（後輩）が来ている時、どんな気持ちで仕事に臨んでいますか？

M: お手本になれたらいいなと思います。  
H: 見本となる姿  
K: 見本になれるようになりたい。



③ 実習生（後輩）に伝えたいことはありますか？

M: 仕事は大変だけど頑張してほしいです。  
H: 同じことの繰り返しなのでできれば2回で手順を覚えてほしい。メモを取ってもらいたい。  
K: 仕事の大変さを学んでほしい。メモを積極的にとるようにしてほしい。



④ 今後の目標を教えてください。

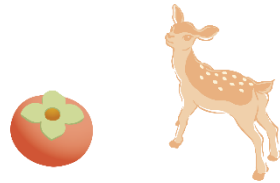
M: もっと体力をつけて、1日外で働けるように頑張ること。就職すること。  
H: 就職が出来るようにしたいです。（コミュニケーションや作業のスピードを一定にすること）  
K: 早く一般就労に行けるようにする。

支援学校の先生方が実習生の様子を見に来てくださった時、卒業生の成長した姿に感動して下さいます。卒業生も頑張っている姿を見てもらい、恥ずかしそうにはしていますが内心とても喜んでます。今後も就職に向けて、日々頑張りたいなと思います。

## 新しいお仕事のご紹介

今年新しく株式会社ひとさじ様の草取りの仕事の依頼を受け、作業させていただきました。

えごまの間の草取りの様子



# 就労継続支援B型事業

行事の様子をお伝えします♪

毎年恒例の魚釣り大会に参加してきました。高山市社会福祉協議会様主催、高山ライオンズクラブ様が共催です。沢山の福祉施設の方が参加をされていました。

参加した利用者さんには、「団体行動をする・時間を守る」を意識して行動して頂きました。

大勢見えたので、待機組と釣りをする組に分かれて順番を待ちました。待っている間に、焼きそばと和菓子を美味しく頂きました。

自分の順番が回ってくると、周りの人に当たらないよう気をつけながら竿をおろしてました。なかなか釣れなくて疲れてしまう方もみえましたが、最後に釣ったお魚を焼き魚にして持ち帰りました。

最後まで「まだ沢山釣るぞー！」と粘っていた方もみえました(笑)

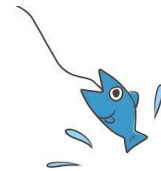
帰り際、名残惜しくしてみえる方もいましたが、「団体行動をする・時間を守る」を意識して気持ちを切り替えて帰路につきました。



釣ったお魚はおいしそうに焼けていました♪



活きの良いお魚を発見！逃がさないぞー！！



「飛騨高山 まつりの森」様に、ウェルの商品を置かせて頂いています。

営業時間は  
午前 9:00～夕方 5:00  
(年中無休)

お立ち寄りの際は、是非お手にとってご覧下さい。



話題の粉せっけんは汚れがよく落ちると好評です！人気のフュージングガラスのアクセサリも「かわいい」と女性に喜ばれています！

## 余暇支援活動「なかまして」



10月6日、飛騨高山ビックアリーナにておこなわれた高山市民スポーツフェスティバルに参加しました。ポッチャ体験、ラダーゲッター、マンカラ（テーブルゲーム）、弓道体験と盛りだくさんの内容を仲間と共に楽しむことができました。

ポッチャ体験では、はじめはボールをコントロールするのに苦労していましたが、徐々に慣れてくると白熱した試合展開になりました。



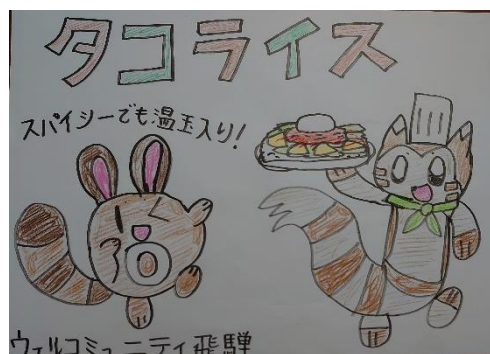
## 第36回高山市福祉フェスティバルに参加します！！

10月19日（土） 10:00 ~ 15:00  
高山市福祉フェスティバルに参加します！！



地域の皆様に法人の活動を知っていただく、他の福祉団体の皆様と交流を深める貴重な場である「高山市福祉フェスティバル」の季節がやってまいりました。

今年は、「**タコライス**」、「**牛丼**」、「**ポップコーン**」、「**ゲームコーナー**」と盛りだくさんの内容で参加します。皆様のご来場を心よりお待ちしております！



# 青空通信

NPO 法人 ウェルコミュニティ飛騨 青空作業所  
高山市山口町 1297-1 0577-35-1559  
<https://www.welcom-aozora.com/>  
令和元年 10月 10日発行 第42号



### 自分を知ることの大切さ

理事長 柏木 真司

季節は秋となり、朝夕は肌寒さを感じる頃となりました。皆様お変わりございませんでしょうか。日頃よりウェルコミュニティ飛騨 青空作業所の活動に対し、ご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、早下半期となりましたが、今春高等部を卒業した訓練生の中でもそろそろ就職に向けた動きが出てきています。最近、就労移行支援の訓練生の様子を見て感じることは、訓練を1年間取り組んだ人と半年しか経過していない人との違いです。

その違いとは自己理解が出来ているかどうかといった点です。半年経過した訓練生でも十分働く力は有していますが、その多くは自己理解が不十分であり、自分の強みや課題が把握できていません。その為、訓練を受ける目的や意義が曖昧となり、毎日の訓練を楽しんでいるといった感が否めません。そのこと自体が悪いことではありませんが、なかなか課題の改善にまでは至りません。

一方で1年経過した訓練生は、自分の課題がしっかり理解できており、その改善に向けて何をしなければいけないかが明確になっています。その為、訓練に臨む姿勢は半年前とは明らかに違ってきます。

私たち支援者は就職といった結果を優先しがちですが、自己理解を進める為には一定の訓練期間が必要であるということも認識しなくてはならないと感じています。皆、自分のことは意外に知らないものです。訓練においても、仕事探しにおいてもまず自分を知ることがとても大切であり、そのサポートを行うのが私たちの役割だと考えています。

